

活力あるまち、 桑名へ



市無形文化財の「桑名の千羽鶴」

桑名市長 伊藤 徳宇



明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。本年が皆さまにとりまして、希望にあふれ、幸多きすばらしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、まずは長年の懸案になっていた桑名駅の整備について着手することができました。現在、バスや鉄道等の交通機関の乗り継ぎがスムーズに行える桑名駅自由通路および橋上駅舎の整備を進めており、平成32年度中には供用を開始する予定です。完成すると利便性の向上はもたらんこと、地域活性化の大きな起爆剤になることを期待しています。

また、災害発生時の情報伝達力を強化するため、旧桑名地区の浸水域に同報系防災行政無線を完備することができました。引き続きより安全で安心なまちにするために、防災対策を進めて

まいります。

福祉の分野では、特に相談体制の充実に努めました。介護や障害、子育てなど、さまざまな福祉分野の相談に対し、縦割りではなく、総合的に対応できる「福祉なんでも相談センター」を開設しました。また、桑名市地域子育て支援センター「にこにこ」を開設しました。利用者目線に立ち、暮らしに密接した商業施設の中に子育て支援センターを設置できましたことを大変うれしく思っております。

さて、本年は、待望の「桑名市総合医療センター」が4月に開院します。総合医療センターでは、これまでは市外の医療機関にお世話になっていた急性期医療、小児周産期医療、高度医療への対応が可能になり、桑名市はもとより桑名地域の中核病院としての役割を果たすこととなります。今年、桑名の地域医療の形が激変する、まさに「地域医療元年」ともいえる1年になるものと確信しております。

今後とも、暮らしの安全と安心の確保に万全を期すとともに、桑名市ならではの個性や独自性を生かした取り組みなどに積極果敢に挑戦し、持続可能な活力あるまちづくりの実現に向けて取り組んでまいります。市民の皆さまには、市政に対するより一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

桑名市議会議長

竹石 正徳



明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。

日ごろから、市議会の活動に対しましてご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、市民の皆さまにはご負担をお願いいたしますが、各施設の適切な維持管理と受益者負担の適正化を図るため、各種手数料、使用料を見直しました。

また、少子高齢化、人口減少社会の進展を見据え、複雑化・多様化する地域課題に対し、その解決に取り組む（仮称）「まちづくり協議会」の形成をめざし、本年4月から地区市民センター、公民館がまちづくり拠点施設へと機能転換されます。

さらに、長年の懸案となっております東西自由通路を含む桑名駅周辺の整

備においては、鉄道事業者と工事施行に関する協定が締結され、3年後の供用開始をめざして工事が着工されるなど、本市の輝かしい将来を見据え、新たな第一歩を踏み出す一里塚ともなる一年でありました。

市議会といたしましても、議会改革に取り組み、昨年で12回目を数えた「議会報告会」は、定着化してきましたが、参加者数が減少していることから実施方法を見直し、市議会の情報を市民の皆さまにわかりやすく発信すると同時に、議会運営や議員活動に対するご意見やご提言を受けやすくいたしました。

いつの時代も市民の皆さまの負託に応えるべく、ニーズを敏感に捉え改革に取り組んでまいりましたが、この4年もその思いで努力してきたところであります。

本年は、市議会議員選挙の年であります。多くの候補者が、志を高く、それぞれにわがまちの将来あるべき姿を標榜し選挙に臨んでまいります。市民の皆さまにおかれましては、大所高所よりご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまにおかれましては、新しい年が実り多き素晴らしい一年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



ユネスコ無形文化遺産の「桑名石取祭の祭車行事」